



まんだらげ

Vol. **63**
2023 WINTER



生石高原から眺める目の出

Contents

- 特集 1 ……循環器内科で開始された最新循環器疾患治療について
特集 2 ……新しい治療法への取り組みについて～耳鼻咽喉科・頭頸部外科～
Topics ……和歌山県ドクターヘリ格納庫・給油施設竣工式について/災害時における食料等の調達に関する協定締結/病態栄養治療部の紹介/看護部の取り組みについて
Information ……院内看護師向け特定行為研修/患者支援センターについて/市民公開講座/癌の予後不良と化学療法耐性にかかわる新たな機構を発見/隣がん早期診断を目指した新しい画像診断法開発の医師主導治験を開始/“持続する強い痛み”を生み出す原因物質を世界で初めて発見/病状説明などの勤務時間内実施について/最新の医学・医療カンファランスのお知らせ

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

理念

私たちは安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切にし、十分な説明と理解に基づく同意を得て、安全な医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

循環器内科で開始された最新

心臓病に対する治療法は日進月歩で進化しており、以前は治療不能もしくは手術でなければ治療不可能とされた疾患が内科的に治療可能になってきています。最近、当院循環器内科グループで実施可能になった治療法を紹介します。

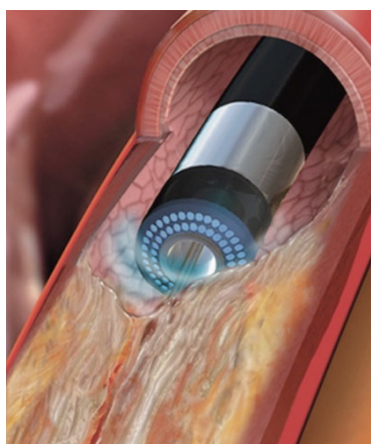


1. 虚血性心疾患に対する冠動脈カテーテル治療

エキシマレーザーは塩化キセノンガスに高電圧を加えて生じたエネルギーを増幅させてレーザー光を発生させます。エキシマレーザーには①レーザー光によるカテーテル先端から0.05-0.1mmに存在する病変組織の分子結合の切断、②分子結合の切断に伴って生じた音波で動脈硬化組織に亀裂を生じさせることによる組織性状の変化、③高音波に伴い発生する気泡による動脈硬化病変の切削といった3つのユニークな特徴が

あり、これらによって通常の風船などでは治療困難とされる動脈硬化病変も治療可能です。エキシマレーザーが導入されたことにより、複雑な冠動脈病変も治療可能になりました。ステント治療後の再狭窄病変、冠動脈バイパス手術後の治療、従来からカテーテル治療困難と言われた冠動脈病変にも対応しておりますのでいつでもご相談ください。

(外来：月～金曜日)



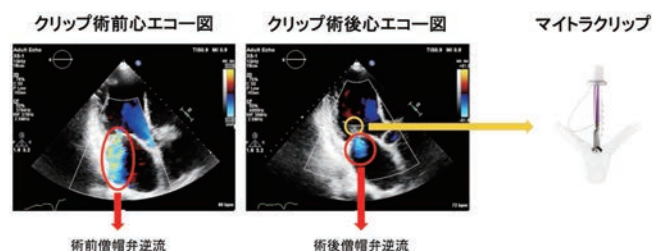
エキシマレーザーによる冠動脈治療
(画像提供/株式会社フィリップス・ジャパン)



記者発表をする田中篤教授、塩野泰紹講師、尾崎雄一助教、高畑昌弘助教

2. 弁膜症（機能的僧帽弁閉鎖不全症）に対するカテーテル治療（経皮的僧帽弁クリップ術）

左心房と左心室と呼ばれる心臓の2つの部屋を隔てる僧帽弁がうまく閉じなくなることで血液が心臓の中で逆流する僧帽弁閉鎖不全症が増加しています。従来は開胸手術でのみ根治可能とされていましたが、心機能低下、併存疾患、高齢などの理由で手術リスクが高いと判断せざるを得ない患者さんには手術を受けて頂くことができないこともありました。2022年9月から経皮的僧帽弁クリップ術（マイトラクリップ）という機能的僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療が可能になりました。全身麻酔でカテーテルを足の付け根から挿入し、開胸することなく僧帽弁にクリップを留置して僧帽弁の逆流を制



経皮的僧帽弁クリップ術による弁膜症治療
(画像提供/アボットメディカルジャパン合同会社)

循環器疾患治療について

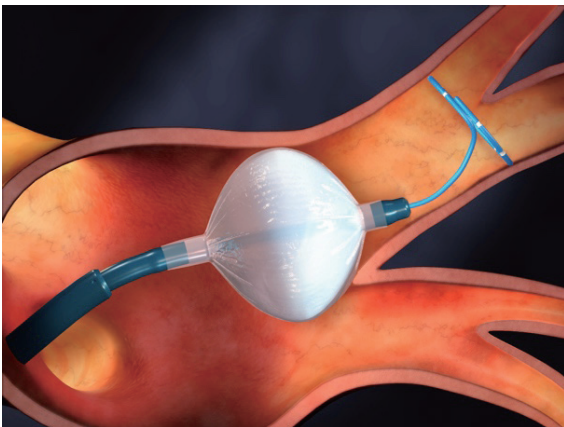
御します。治療後は翌日から歩行可能で、外科手術と比較して、体への負担が少ない治療法です。従来行ってきた大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁置換術（120例／年以上実施）にこの治療法が加わったことで弁膜症治療の選択肢が広がっています。ハートチームで患者さん一人一人の状況（年齢、ご希望、弁や血管の特徴、併存疾患、虚弱性など）に合わせた治療を提供します。

（外来：月曜日）



記者発表をする田中篤教授（写真右）、和田輝明助教（写真左）

3. 不整脈に対する非薬物治療

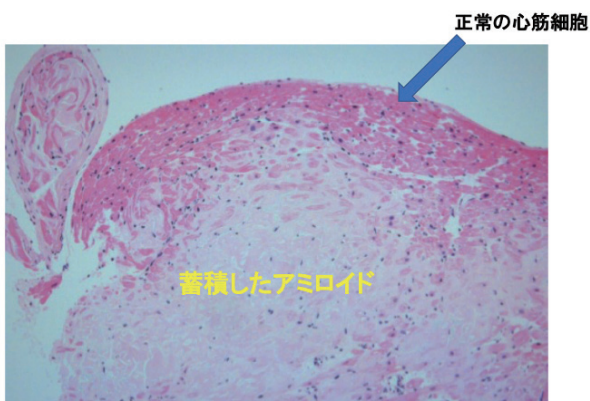


冷凍アブレーションによる心房細動治療
（画像提供／日本メドトロニック株式会社）

当科の不整脈チームは現在県内で唯一、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医2人体制で、先進的な不整脈治療を提供しています。カテーテルアブレーション治療においては、高周波アブレーションに加えて、冷凍（クライオ）アブレーションも提供できます。また、植込み型デバイス治療（ペースメーカ・植込み型除細動器・心臓再同期療法等）においては、すべての植込み手術に対応していることは当然ですが、今後はエキシマレーザーを用いたリード抜去手術の施設認定も県内初で取得予定です。心房細動・発作性上室頻拍等の日常よく遭遇する疾患から難治性不整脈まで、県民の皆様一人ひとり適切な治療を提供することを心掛けています。

（外来：火、水、木、金曜日）

4. 心アミロイドーシスに対する薬物治療



アミロイドーシスの組織象
（日本循環器学会2020年版 心アミロイドーシス診療ガイドラインより一部改変引用）

心臓は4つの部屋からできた臓器です。4つの部屋の「壁」が「心筋」と呼ばれ、心筋に障害を来した疾患を「心筋症」と言います。心筋症には、心筋そのものに原因がある「特発性心筋症」と、全身疾患が原因で発症する「二次性心筋症」があります。循環器内科では、2022年4月から、水曜日4診に「心筋症患者さんを対象とした外来」を開設し、多くの心筋症患者さんを診療しています。最近特に注目されている二次性心筋症が、トランスサイレチン型心アミロイドーシスです。この疾患は従来不治の病とされてきましたが、最近薬で治療可能になりました。薬物治療の効果を最大限に得るためには早期発見、早期治療が重要です。丁寧な診察、適切な検査での確な診断できるよう心がけております。

（外来：水曜日）

新しい治療法への取組みについて

頭頸部がんに対する光免疫療法

頭頸部がんとは

頭頸部がんとは、鼻や口、のど、首にできるがんの総称です。がんが進行すると、見る、聞く、嗅ぐ、話す、食べる、等の日常生活に影響が及びます。そのため、頭頸部がん患者さんの治療においては、治療後の日常生活への影響を考慮しながら、がんの大きさや広がり、がんの部位や特徴（病理組織）、年齢、

これまでにかかった病気や現在治療している病気、臓器の機能などに基づき、患者さんごとに手術、放射線治療、薬物療法の3つの治療法を組み合わせで行われます。近年、さらに第4の治療法として、光免疫療法が注目を集めています。

光免疫療法について

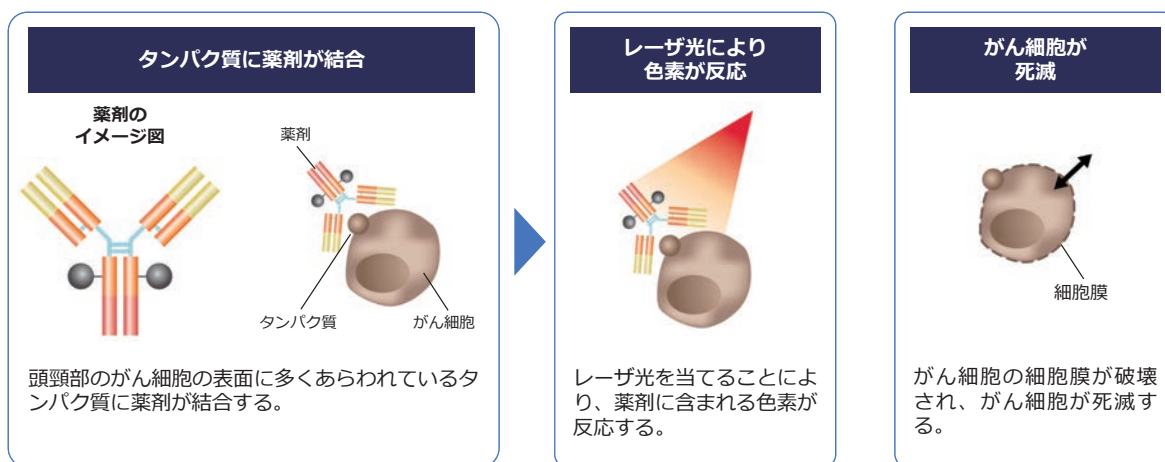
頭頸部がんに対する光免疫療法は、がん細胞の表面にあるタンパク質に結合する薬剤（抗体薬物複合体）を投与した後に、全身麻酔のもとでレーザー光を照射することで薬剤（抗体薬物複合体）が反応し、がん

細胞を死滅させる仕組みです。そのため、この光免疫療法は、がん細胞に対して選択的に作用し、周囲の健康な細胞にはあまり影響を与えないと考えられています。

光免疫療法のしくみ（図1）

頭頸部のがん細胞の表面には、細胞の増殖を促す物質を認識して、増殖の刺激を送るタンパク質が多くあらわれています。光免疫療法に使う薬剤（抗体薬物複合体）は、このタンパク質に結合します。抗体薬

物複合体が結合したがん細胞にレーザー光を照射することにより、抗体薬物複合体に含まれる色素が反応し、がん細胞の細胞膜が破壊され、がん細胞が死滅します。



(図1) 光免疫療法のしくみ

素材提供：楽天メディカル（株）

～耳鼻咽喉科・頭頸部外科～

光免疫療法の流れ

光免疫療法では、1日目に、①抗体薬物複合体を点滴します。がん細胞の表面に多くあらわれているタンパク質に抗体薬物複合体を結合させます。2日目

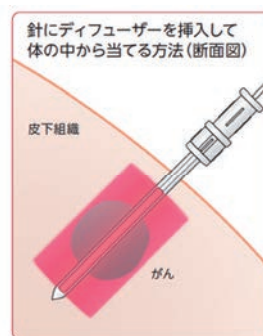
に、②レーザー光を照射して抗体薬物複合体を反応させることで、がん細胞を死滅させます。光免疫療法は、この二段階で、2日間行われます。

①第一段階（1日目）

抗体薬物複合体は2時間以上かけて点滴で投与されます。抗体薬物複合体を投与する部屋は、カーテンやブラインドを閉めて、直射日光が入らないようにします。抗体薬物複合体の投与中は屋外や廊下からも自然光が入らないようにします。

②第二段階（2日目）

抗体薬物複合体を投与してから20～28時間後に、手術室で全身麻酔を行い、レーザー光を照射します。肺に空気を送ったり、痰を吸引しやすくするために気管切開（気管に孔を開ける）が必要になることがあります。レーザー光はディフューザーと呼ばれる光ファイバーを用いて照射します。レーザー光の照射には、がんの表面の部分に体の外から当てる方法と、がんを針を刺し、そこにディフューザーを挿入して体の中から当てる方法の2種類があります（図2）。がんの部位や大きさによって、どちらか片方の方法で治療する場合と、両方の方法を合わせて行う場合があります。



（図2）レーザー光照射

素材提供：楽天メディカル（株）

③治療後（3日目以降）

直射日光などの強い光により、皮膚が赤くなったり、皮膚や目に痛みが生じたりすること（光過敏症）があるので、外出はなるべく避け、基本的に室内で過ごしてもらいます。その時には、室内照明は標準的な蛍光灯または白熱灯とし、明るさは可能な限り小さくし、読書灯などの強い光の出るものは使用しないように注意してもらいます。外出が必要な場合は、帽子、スカーフ類、サングラス、長袖、長ズボン、手袋、靴下などを着用し、肌が露出しないようにしてもらいます。治療後4週間経過した後も、当面は日光浴など強い光に当たるのを避け、徐々に通常の光に慣らしていきます。

光免疫療法は、切除（手術）が困難な患者さん、薬物・放射線療法などの標準的な治療を受けた後の患者さんが対象となりますが、首の動脈や静脈にがんが広がっていると行うことができません。和歌山県

立医科大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科でも、光免疫療法を始めますので、詳しくは担当医にご相談ください。※現在の保険適用は、「頭頸部がん」のみとなっています。

和歌山県ドクターヘリ 格納庫・給油施設竣工式について

ドクターヘリの格納庫と給油施設が和歌山市加太（県消防学校隣接地）に完成し、11月14日に竣工式が執り行われ、運用が始まりました。

建設された格納庫は木造1階建て、広さがおよそ400平方メートルあり、ヘリコプター2機を収容することができます。また、給油施設も併設しており、大規模災害時にはヘリコプター5機が2日間活動できるよう地下タンクに燃料3万リットルを備えています。

当院ヘリポートで待機しているドクターヘリについては、悪天候（強風、雷雨）や台風接近が予測された場合、従来、県外の格納庫（神戸空港：運航会社所有）に避難しており、復帰の判断も神戸空港と当院ヘリポート間の天候回復が条件となっていました。この格納庫・給油施設の運用開始により、避難開始や復帰に要する時間が短縮できるようになり、さらなる救急要請に 대응していくことが可能となりました。



竣工式に出席した宮下和久理事長（写真左）、救急集中治療部加藤正哉教授（写真右）



2022年11月14日、和歌山市加太にて竣工式の様子

災害時における食料等の調達に関する協定締結

当院は、和歌山県の基幹災害拠点病院に指定されており、大規模災害発生時には県内における災害医療の中核病院としての役割が期待されています。災害発生時には、病院機能を維持するため勤務する職員の食料等の確保が重要であり、この度、附属病院内で運営しているファミリーマート（株式会社Fプロデュースコーポレーションが株式会社ファミリーマートとフランチャイズ契約により運営）と協定を締結いたしました。

この協定により、大規模災害発生時、当院から食料品や飲料水、日用品など必要な物資の供給を要請した場合、ファミリーマート和歌山県立医科大学附属病院店から調達可能な物資を優先的に供給していただけることになりました。今後も災害拠点病院としての備えを万全にし、県民の皆さまの期待に添えるよう努めてまいります。



宮下和久理事長（中央）と（株）Fプロデュースコーポレーション清水代表取締役（写真左）、（株）ファミリーマート小佐々統括部長（写真右）

診療科・中央部門の紹介／病態栄養治療部

病態栄養治療部では医師の治療方針に基づき、患者さんの健康状態と身体能力に合った食事を提供しています。また、食事療法が必要な患者さんに対して、病棟訪問や栄養食事指導などを行っています。入院中の食事は患者さんにとって生活リズムの中心であり、日々の楽しみの一つでもあります。そのために、入院患者

さんの喫食状況(※)やアンケート結果を基に、安心・安全で喜ばれるメニューの見直しを随時行っています。入院・外来を問わず、食事に関するご質問、ご相談などありましたら、主治医にお伝えください。管理栄養士が対応させていただきます。

(※喫食：食事を楽しくおいしく食べること)

<寒い季節の冷え性と食事>

冷えは「万病のもと」と言われており、放っておくと、頭痛や腰痛、肩こり、便秘、下痢、不眠、肌荒れ、月経不順など、さまざまな体の不調を引き起こす可能性があります。冷え性の予防には体を温め、血流を良くする栄養素が含まれた食べ物を取り入れると良いでしょう。冷たい飲み物・食

べ物を控え、温かいものをとるようにしましょう。また、過度なダイエットは控え、甘いものはほどほどに、バランスの良い食事を心がけることが大切です。日々の食事と適度な運動を取り入れるなどの生活習慣を見直して、冷え性対策をしていきましょう。

たんぱく質	筋肉の代謝と修復を助けます。また、体内で熱エネルギーを作ります。 多く含まれる食材 肉類、魚介類、大豆製品、卵、乳製品など
ビタミンB1	代謝を良くし、体を動かすエネルギーを作るため、血液の流れが良くなります。 多く含まれる食材 豚肉、うなぎ、玄米など
ビタミンE	血行を促進し、血液をサラサラにしてくれます。 多く含まれる食材 ナッツ類、かぼちゃ、魚介類など
鉄分	貧血を予防し、全身に酸素を運びます。 多く含まれる食材 レバー、肉類、魚介類など



生姜(しょうが)やネギ、唐辛子などの辛み成分には血行促進作用が期待できます。生姜を入れた汁物や鍋物などはいかがでしょうか。



看護部の取組みについて～安全で安心できる看護を提供～

看護部には、令和4年12月1日現在、860名の助産師・看護師・看護補助員が在籍しています。その中で、「安全で質の高い医療の提供」「地域の保健医療の向上への貢献」という病院の理念に基づき、日々看護を実践しています。

高度で質の高い医療を提供できる大学病院の看護職員として、自己研鑽を重ね、「誇れる看護」をキーワードとし、一人ひとりが看護に取り組んでいます。また、人材育成、安全管理、経験の格差を互いに補い均等で公平な看護の提供という視点から、看護師は二人一組で患者さんに対応しています。

育児や介護をしながらも仕事を継続できる制度が整っており、自分のライフスタイルに合った制度を選択して、多くの看護職員が就業を継続しています。

看護補助員は、看護師の指示のもと、患者さんのベッド周辺の環境の整備、検査室やリハビリ室等への送り迎え、医療材料の整理等、多くの看護補助業務を担っています。看護補助員から得られる患者さんやご家族の情報を看護に活かすことも多くあります。今後も看護師と看護補助員が看護チームとして協働し、安全で安心できる看護を提供していけるよう取り組んでいきたいと思ひます。



看護師・看護補助員の募集について

当院で一緒に看護をおこなってくれる仲間を募集しています。また、看護師の業務を補助してくれる看護補助員も多く求めています。詳しくは**病院ホームページの採用情報等の案内**をご覧ください。

【和歌山県立医科大学附属病院：採用情報ページ】
<https://www.wakayama-med.ac.jp/saiyo/index.html>



院内看護師向けの特定行為研修(急性期医療コース)を開催中!

特定行為とは、医師が作成した手順書により看護師が行う診療の補助で、厚労省が認めた指定研修機関で研修を受けた看護師が実践できます。研修修了者は手順書に沿って患者さんの状態を判断し、必要なケアをタイムリーに提供できるメリットがあります。これまで本学では、地域医療に携わる看護師を対象に特定行為研修を

実施してきましたが、今年度、急性期医療を担う院内看護師を対象としたコースを新たに開講しました。このコースでは、「中心静脈カテーテルの抜去」や「(動脈血の)直接穿刺法による採血」「橈骨動脈ラインの確保」の3つの特定行為を学ぶことができます。修了者は救急や集中治療、病棟での幅広い活躍を期待されています。



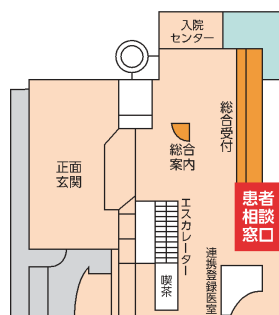
令和4年度特定行為研修開講式



演習風景

患者支援センターについて

患者支援センターは、患者さんが安心して医療を受け、快適な生活が送れるように支援するところです。当センターには5つの機能があります。



(患者相談窓口の場所: 附属病院中央棟2階)

「入院センター」は、患者さんが安心して入院医療を受けられるよう、

また、適切な時期に住み慣れた地域に戻れるよう入院前から支援します。具体的には、入院センターで看護師が患者さんの病状や生活の状況を伺い、入院先の病棟に繋がります。

「地域連携部門」は、患者さんが住み慣れた地域などで療養や生活を継続できるよう、退院支援・在宅移行支援を行っています。病棟担当者がいますので、お気軽にお声がけください。院内外が多職種と連携して入院から退院まで、医療・看護・介護の必要な援助を切れ目なく受けられるように支援しています。



(入院センター)

「患者相談窓口」は、治療や療養上の相談をはじめ、さまざまな意見や要望を伺います。お受けましたご相談やご要望は、その内容に応じて適切な部署や職種と連携を図りながら問題解決に努めています。また、「患者相談窓口」に「脳卒中相談窓口」を新たに設けました。

他にも「病床管理部門」「予約センター」が連携し、患者さんや患者さんのご家族をサポートしています。



(患者相談窓口)

がん患者・家族、県民のための 公開講座のご案内

日 時:2023年2月18日(土) 13時~15時 場 所:和歌山県立図書館 メディアートホール

講 演:医療者とコミュニケーションとれていますか? 賢い患者になりましょう

講 師:山口 育子 氏 (認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長、『賢い患者』著者)

お申込み:患者支援センター (TEL:073-441-0778/専用紙でFAX:073-441-0862)

和歌山県立医科大学 がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン

市民公開講座 「研究が創り出す がん治療最前線」

日時 令和5年1月21日(土) 13:00~15:00(開場12:30~)

場所 和歌山県立医科大学 講堂

講師 国立がん研究センター 中央病院 角南 久仁子 先生
和歌山県立医科大学 附属病院 腫瘍センター がんゲノム医療部門長/内科学第三講座 准教授 清水 俊雄

定員 200名(事前申込要)
※新型コロナウイルスの感染症が拡大した場合、オンラインになりますので予めご了承ください。

申込方法 スマホ、タブレット、パソコン、郵送またはFAXにて、(申込メ切、令和5年1月11日(水))お名前(ふりがな)、ご住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、手話通訳や要約筆記の有無、その他必要な配慮、講師への質問を記入の上、

申込方法

【スマホ・タブレット】

右のQRコード
申込フォームから



【パソコン】

申込フォームから
<https://forms.gle/FYAYrxBd8zmMfBey8>

【郵送】〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1 和歌山県立医科大学 経理課あて

対象者 どなたでも参加できますので、ぜひともご参加下さい。

その他 オンラインでの開催となった場合、参加者のメールアドレスに参加までの流れについてお知らせします。また、受講にあたってはパソコンやスマートフォンなどの環境が必要になります。

問い合わせ先

和歌山県立医科大学 経理課
TEL:073-441-0516 FAX:073-441-0706 MAIL:ganpro@wakayama-med.ac.jp



癌の予後不良と化学療法耐性にかかわる新たな機構を発見

生化学講座の西辻和親准教授、池崎みどり助教、産科・婦人科学講座の岩橋尚幸助教、フランス国立科学研究センター・リール大学の内村健治研究ディレクター、熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学講座の菰原義弘教授らの研究グループが、癌の予後不良と化学療法耐性にかかわる新たな機構を報告しました。

TP53はヒトのがんで最も多く変異が見られるがん抑制遺伝子です。最近の研究から、がん細胞においてTP53遺伝子産物であるp53タンパク質が神経変性疾患で見られるようなアミロイドを形成することが分かっていますが、p53アミロイドが癌病態にどのような影響を及ぼすのかについては、詳しく分かっていません。本研究では90%を超える症例でTP53遺伝子変異が見られる高異型漿液性卵巣癌について

p53アミロイド陽性症例の探索と予後解析を行い、p53凝集体がp53変異型の癌の予後に強く影響することを報告しました。また、卵巣癌由来細胞株を用いた実験から、細胞間を伝播して

いくp53凝集体がプラチナ製剤に対する耐性獲得に寄与する可能性を世界で初めて示唆しました。今後、有用な治療標的遺伝子が見つからないがんにおいて、p53凝集体を標的とした新しい治療戦略の開発が期待されます。



生化学講座 西辻和親准教授

和歌山県立医科大学では、膵がん早期診断を目指した新しい画像診断法開発の医師主導治験を開始しました

膵がんは、手術による切除不能の進行がんが約60～70%程度を占め、5年生存率は8.5%と最も予後が悪い悪性腫瘍です。一方、小膵がんの5年生存率は80%と高く、早期に膵がんを発見することが求められています。そこで、膵臓の超音波検査を行う際に超音波造影剤ペルフルブタンを用いることで膵腫瘍の診断能の向上が得られることが期待されるため、2022年10月より和歌山県立医科大学を中心として医師主導治験「膵腫瘍性病変を有する患者を対象としたペルフルブタンを用いた造影超音波検査の鑑別診断能を評価するための多施設共同検証的試験」を実施しております。本治験ではペルフルブタンを用いた造影超音波検査の新たな適応取得を目指

しており、膵がんが疑われる患者さんに対して本検査を行うことで、その診断の精度を評価します。本治験により、造影超音波検査の有用性が検証され、将来保険診療で使用されるようになれば、膵がんの早期発見、早期治療につながり、我が国における重要課題である膵がん予後改善に寄与することが期待されます。

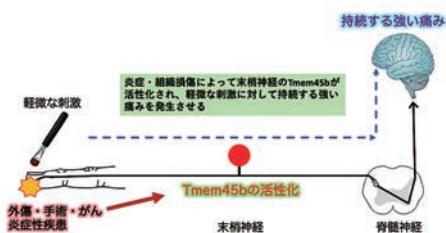


記者発表をする
内科学第2講座 北野雅之教授

リウマチから外傷・手術およびがんまで“持続する強い痛み”を生み出す原因物質 Tmem45b を世界で初めて発見

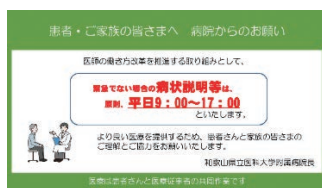
リウマチ・手術・外傷およびがんなどでは、“動いただけで痛い”、“触ただけで痛い”などの“持続する強い痛み”が出現し、患者の生活の質を低下させます。現在、“持続する強い痛み”に対して、消炎鎮痛薬や医療用麻薬が使用されていますが、なかなか痛みは緩和されず、中枢神経系の副作用に悩まされることもあります。

この度、麻酔科学講座を中心とした研究チームは“持続する強い痛み”の原因物質 Tmem45b を世界で初めて同定しました。動物実験で、外傷や炎症による“持続する強い痛み”は、Tmem45b を働かなくすることにより消失しました。Tmem45b は中枢神経系にほとんど存在しないため、Tmem45b をターゲットとした痛み治療は、副作用が少なく優れた鎮痛効果が期待され、痛み治療の Game Changer となる可能性を秘めています。まだ、動物実験段階ですが、患者さんを痛みから解放するために、研究を継続して参ります。



オンライン記者発表の様様
麻酔科学講座 川股知之教授 (写真右)、
谷奥匡助教 (写真左)

病状説明などの勤務時間内実施について ～ご協力のお願～



「医師の働き方改革」として、2024年4月から「医師の時間外労働上限規制」を適用することが決定され、病院に勤務する医師の労働時間短縮に向けた取り組みが求められています。

当院では、医師等職員の働き方を見直しながら、患者さんへのより良い医療の提供に努めて参ります。

つきましては、患者・ご家族の皆さまへの医師による病状説明は、緊急の場合を除き、原則、平日の勤務時間内に行うことといたします。

☆病状説明等の実施時間☆
平日の勤務時間内（9時00分から17時00分まで）
※診療上、病状の変化や緊急時について医師が判断した場合には、この限りではありません。

患者さん、ご家族の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最新の医学・医療カンファランスのお知らせ

本講座は、一般の方に最新の医学・医療情報等を提供し、教養を深め、健康や治療に役立てていただくことを大きな目的として開催しています。市民公開講座としての開催や、Web配信にて実施しています。開催時期やテーマについての案内は、大学ホームページの「イベント情報」に掲載しています。医学・医療に関する専門的な知識は必要ありませんので、興味のある方はぜひご覧ください。なお、Web配信は申込不要で、いつでもご視聴いただけます。



開催情報掲載場所

和歌山県立医科大学ホームページ・イベント情報

URL

<https://www.wakayama-med.ac.jp/index.html>

予約センターからのお知らせ ～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「予約制」とさせていただいております。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などから FAX でお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」にて電話予約センターに FAX 送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関に FAX 返信いたします。
- ③ 予約当日は、予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)・服用中のお薬・お薬手帳をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

■ご本人からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などで紹介状をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科 〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 「当院予約センター」に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)・服用中のお薬・お薬手帳をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

電話予約センター (患者支援センター)

TEL **073-441-0489**
(受付時間:月～金 8:30～16:00)

FAX **073-441-0805**
(受付時間:月・火・水・金 9:00～19:00 / 木 9:00～17:00)

※院内に予約窓口も開設しています。(月～金 9:30～17:00)



待合番号アプリのご案内

「病院待合番号」アプリのインストールにより会計の計算完了済みの番号や外来の順番をスマートフォンでご覧いただけます。食堂・コーヒーショップ・喫茶店、駐車場でも順番を確認できます。下記からダウンロードの上、ぜひご利用ください。

アプリの
ダウンロード



スマパ

検索

QRコードから
もしくは「スマパ」で検索して
インストールしてください。



患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞かせください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 6 医師、看護職員、病院職員に対する謝礼、贈答品は固くお断りしています。

- 受付時間 午前8時50分～午前11時30分
 - 再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
 - 休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。